

## 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学



## 2019年度 入学式を挙行 今年も多くの新入生を迎えました

2019年4月3日、グランキューブ大阪にて大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学の2019年度入学式を挙行了しました。本年度は大阪成蹊大学に673名、大阪成蹊大学大学院に3名、大阪成蹊短期大学に739名、合計1,415名の新入生を迎えました。メインホールはたくさんの新入生・保護者の方々で一階席・二階席とも満員となり、別会場の保護者の方々に向けた同時中継も行われました。

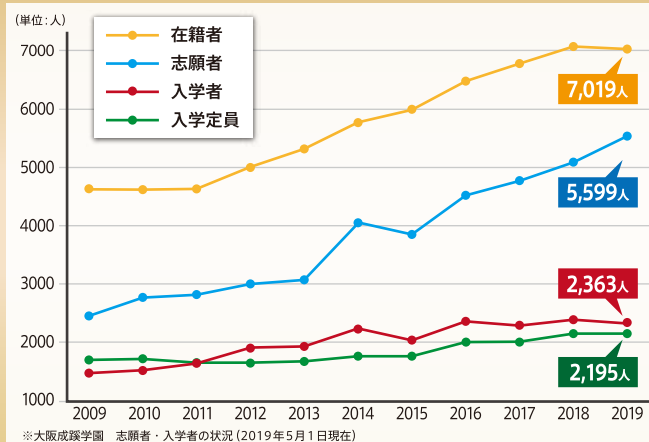
大阪成蹊大学の武蔵野実学長は、「本年は開学以来最多の入学生を迎えることができました。本学では初年次科目の改革や、各学部専門教育の系統的な整理と重点化など、学生諸君がより意欲的・主体的に学びに参加できるよう教育内容の改革を進めています。また国際的に活躍するビジネスパーソンの育成に力を入れる本学では、昨年のマネジメント学部『国際観光ビジネス学科』の開設に続き、3月末には英語教育センターや英語学習施設が入った新校舎『グローバル館』も竣工しました。本学での4年間を、将来社会で活躍するための学びと自己の研鑽に使っていただくことを切に希望します。」と述べ、新入生を激励しました。

大阪成蹊短期大学の紺野昇学長は、「長年の伝統と幅広い学びを持つ本学は、『なりたい自分』の実現をめざせる短期大学であると自負しています。皆さんに期待するのは、まずなりたい自分を見極める、つまり『夢』をもつこと。そしてその夢を自分だけの漠然とした願望に終わらせず、他者と関わり、周囲に影響を与えるような行動を伴う『志』へと拡大してください。2年間というたとえ短い期間であっても、皆さんの人生で最も大きく成長する場にできるよう、全力で皆さんを支えることをお約束します。」と述べ、目標に向かって努力することの大切さを伝えました。

式の終盤には、毎年恒例となっている日本センチュリー交響楽団による新入生歓迎のクラシックコンサートを開催。新入生からは「生のオーケストラの音楽を聴いたのは初めて。とても迫力があり感動しました。」などの声も上がる中、全5曲の壮大で優雅な演奏が新入生たちの門出を祝いました。晴れ晴れしい表情を見せた新入生たちは、新たな学生生活をスタートさせました。



石井 茂理事長・総長

大阪成蹊大学  
武蔵野 実学長大阪成蹊短期大学  
紺野 昇学長大阪成蹊学園  
増加する志願者・入学者数

大阪成蹊大学に開学以来最多の入学生を迎えたほか、学園各校に今年も多くの新入生を迎えた大阪成蹊学園。近年の新たな学部・学科の新設・再編による入学定員の増加の影響もあり、学園全体の志願者・入学者数は堅調に増加しています。学園全体で見ると、2009年度比で志願者数は約2.3倍、入学・入学者数は約1.6倍、在籍者数は約1.5倍と、18歳人口が減少傾向にある中、飛躍的に増加を続けているのがわかります。

## 大阪成蹊大学



# 「経営の本質」を求めて、自分を「アップデート」し続ける 4 年間。

2003 年、大学開学とともに生まれた現代経営情報学部は、「ヒト・モノ・カネ・情報」の基本や経営資源の関連性についての学びを提供し、多くの卒業生を様々な分野へと輩出してきました。2011 年にマネジメント学部へ改称を行って以降、2016 年にはスポーツマネジメント学科、2018 年には国際観光ビジネス学科を新設。スポーツ産業、観光、グローバルビジネスなど、時代のニーズに対応して多様な学びを展開しています。

そして 2020 年 4 月。マネジメント学部は、「経営学部」として新たに生まれ変わります。

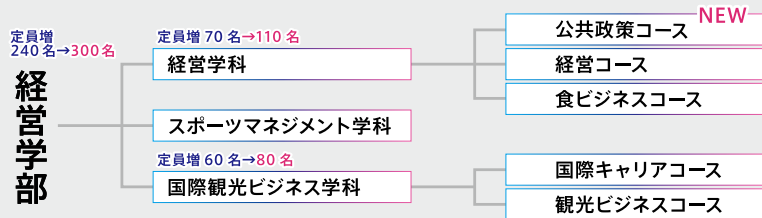
これまでのアクティブラーニングを重視した課題解決型授業や、産官学と密に連携した体制を基盤としながら、新たな価値を生み出す「経営の実践」を重視した学びを展開します。変わり続ける社会とのつながりの中で「生きた経営」を学び、とことん成長できる。自らを、周りを、アップデートする。次世代を支える「経営人材」を育てる学部として発展する経営学部について、ご紹介します。

### 新たに「公共政策コース」を開設。 3学科5コースの新体制へ



より幅広い学びを実現するため、経営学部では新たに「公共政策コース」を開設します。国家公務員、市役所職員、警察・消防をはじめとする公務員をめざすコースです。公共政策コースでは、国や地域における課題を経営的な視点で捉えて解決し、社会の持続的発展を支えるための力を養います。公務員試験対策として、東京LECと連携する学内ダブルスクール「大阪成蹊公務員 Pass プログラム」も開設します。

### 3 学科 5 コースの新体制でスタートする経営学部。 様々なビジネスの分野で活躍できる人材を育成します。



### ビジネスの現場で経験を積んだ スペシャリストが授業を指導。

#### 各学科の実務家教員一覧 ( )内は前職

##### 【経営学科】

山崎哲弘 (大阪商工会議所人材開発部副主幹) / 海野大 (株式会社ポラリス取締役社長室長) / 高畑能久 (日本ハム株式会社経営企画部マネージャー) / 大島博文 (神戸市都市戦略担当課長) / 大塚康央 (茨木市副市長) ほか

##### 【国際観光ビジネス学科】

平賀富一 (株式会社ニッセイ基礎研究所主席研究員アジア部長) / 中野毅 (フィンランド航空大阪支店統括部長) / 国枝よしみ (日本航空株式会社国際線客室乗務員・株式会社ホテル日航大阪総務グループ長) / 島雅則 (株式会社ロイヤルホテル理事、奈良・登大路ホテル総支配人) / 松田充史 (近畿日本ツーリスト株式会社) ほか

経営学部の在籍教員の半数以上が、実際に経営の現場で働いた経験を有する「実務家教員※」。実践的なノウハウにもとづいた指導が実現します。

##### 【スポーツマネジメント学科】

岡田功 (毎日新聞記者) / 水野利昭 (ミズノ株式会社社長室長) / 植田真司 (ミズノ株式会社、株式会社ニーズ創造研究所代表取締役) / 菅文彦 (ヤフー株式会社、株式会社スポーツ&ソーシャル総合研究所設立) / 田村匡 (建設省、株式会社電通) / 瀧谷賢司 (中・高校教員、日本陸上競技連盟強化委員) / 胡山喬 (中国バドミントンナショナルチーム) ほか

※企業や非営利団体、行政の現場などにおいて、自身が担当する授業に関わる実務に従事した経験を持つ教員。(上記は 2019 年 7 月時点の予定であり、変更場合があります。)

### 企業や自治体と連携した 学びが充実

マネジメント学部では、数多くの企業や自治体と連携した授業を行ってきました。経営学部

でもその強い連携力を引き継ぎ、PBL (=課題解決型学習) 授業や、実践力を身につけるインターンシップを豊富に行い、即戦力となる経営人材へ皆さんをアップデートします。



### 1 年次から始まる ゼミベース教育

経営学部では、1 年次から少人数による「ゼミベース教育」を展開。経営学の基礎を固めたら、2 年次からは興味のあるテーマのゼミに所属し、リサーチとディスカッションを重ねながら、卒業研究、そして将来の夢へ進んでいきます。

#### 卒業研究テーマ例

「マーケティング手段としての動画広告とその効果」  
「産学連携による製菓キットの商品開発」  
「財務データから読むユニクロのビジネスモデル」

「外国人観光客の関西地域へのリピーター増加策に関する研究」  
「日本のeスポーツの定着による市場拡大に関する研究」

### 海外ビジネスの 最前線へ

学科・コースの専門に関わる内容を海外で学ぶ海外研修「グローバル・アクティブラーニングプログラム」が充実。国際的な視野での課題解決力を養います。

#### プログラム一例

##### 「第 4 次産業革命と グローバルビジネス」

韓国・韓世大の学生とともに、「第 4 次産業革命」をテーマに各国のビジネス環境の特徴や相違点を議論。韓国でのフィールド調査の成果について、合同学術発表会を実施します。



##### 「フランスにおけるボルディエバター製造と流通を学ぶ」

フランスのボルディエバターがどのように流通しブランド力を高めていったのかなど、6 次産業化の成功例を学び、グローバルな視点で食ビジネスを考える力を強化します。



##### 「海外スポーツビジネス調査」

スペインの FC バルセロナを訪れ、9 万 8 千人収容のカンプ・ノウスタジアムの視察や、クラブ職員による講義を受講。クラブ運営やスタジアム管理、イベントマネジメントについて学びます。



#### PBL 授業の事例紹介

##### 食ビジネスコースと 観光ビジネスコース学生が 京都のツーリズムプランを企画

学生が「着物を着用しての京都の半日観光プラン」を企画。観光地でのフィールド調査に基づいて企画書を起こし、各方面との調整を経て観光スポットを盛り込んだパンフレットを作成しました。



##### 経営コースの学生が 企業の会社案内を作成

大阪府商工労働部中小企業支援室の協力のもと、「学生目線の会社案内の作成」を実施。企業見学やインタビューをもとに企画案を作成し、社長や社員の方々に提案しました。



##### 食ビジネスコースの学生が 大阪産(もん)野菜を使った 商品を開発

大阪府、JA 全農大阪、NSW 株式会社と連携し、大阪産(もん)野菜を使った「おだし香るふきのピクルス」を共同開発。店頭での試食モニター調査を行い、製品改良や販促施策の検討に取り組みました。



## 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

# 新校舎 「グローバル館」完成

### 全学的な英語教育・グローバルな学びの拠点に

昨年度より相川キャンパスにおいて建設を進めていた大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学の新校舎「グローバル館」が2019年3月に完成し、本年度の授業より使用を開始しました。

4階建て校舎の1階には、これまで中央館にあった「英語教育センター」を移転拡充。従来の英語学修サポートやネイティブ教員によるレッスンを、さらに充実した環境で実施しています。

さらに、卒業作品の展示や卒業制作ファッションショーなど様々な規模のイベントに対応した大ホールや、大小様々な教室のほか、授業の合間のおしゃべりやランチを楽しめるラウンジ「English Cafe」、趣向を凝らしたパウダールームを備えた女性トイレなど、学生が快適に過ごせるスペースを備えています。

2019年3月29日には竣工式典が行われ、石井茂理事・総長、大阪成蹊大学武蔵野実学長、大阪成蹊短期大学 紺野昇学長がテープカットを行いました。



▲竣工式典の様子

現在、今年4月に入学した1年生も含め、日々多くの学生で賑わうグローバル館。全学的な英語学修の中枢、グローバルな学びの拠点として、活発に機能しています。



## グローバル館 施設紹介



▼学生・教職員の交流ラウンジEnglish Cafe



▼学生が自由に英会話を楽しめるEnglish Studio



▼広々とした教室にはモニターを完備



▼様々なイベントが開催可能な大ホール



▼快適な女性用トイレ・パウダールーム



## come together! 英語教育センターが 新しくなりました!

大学・短期大学の英語学修機会の提供を行う英語教育センターが、中央館1階からグローバル館1階に移転しました。「English Studio」を併設し、専任のネイティブ教員による個別相談・グループレッスンや、大手英会話スクールによる登録制英会話レッスン、楽しみながら英語に触れることができる各種イベントなどを実施しています。英会話練習はもちろん、英語学修や留学に関する相談など、さらに充実した英語教育センターをご活用ください。



ネイティブ教員陣に新たなメンバーが加わりました!  
皆でどんどん英語を話しましょう♪

〔左からAlexander Sheffrin先生、William Jerry Johnston, Jr.先生、  
Russell Fronk先生、Yevheniy Vakhnenko先生〕



## 大阪成蹊大学

・・・ 小学校教員採用試験、昨年を上回る合格者数

# 教育学部1期生・2期生ともに 教員・保育士志望者の就職率 100%

2019年度の小学校教員採用試験において、教育学部から前年度を上回るのべ19名が合格しました。中でも、最も受験生が多かった大阪市においては2次試験受験者11名全員が合格。その他の学生も講師として採用され、2018年度に続き2019年度も、小学校教員志望者全員が憧れの教壇に立つことができました。また幼稚園教員、保育士についても、公立幼稚園・保育園を含め就職率100%を達成しています。



### 2019年3月卒業生実績

# 100%

#### 小学校教員志望者の就職率

小学校教員採用試験合格者 19名  
講師決定者 22名

# 100%

#### 幼稚園教員・保育士志望者の就職率

就職決定者 40名

#### 小学校教員 一合格自治体別内訳一(のべ)

|       | 大阪府 | 大阪市 | 豊能地区 | 愛知県 | 神戸市 | 横浜市 |
|-------|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 最終合格者 | 4名  | 11名 | 1名   | 1名  | 1名  | 1名  |



小学3年生の担任を務めています。できなかったことができるようになったときの子もたちの笑顔を見ると嬉しく、やりがいを感じます。大学では学部の球技大会の開催や、大阪府医師会主催の体力測定、子どもたちの骨密度測定などの活動、論文作成を通じて、授業力だけでなく人間力も鍛えることができました。豊富な実習や教育人材育成センターの勉強会で幅広い分野について学んだことも身になっており、今も堺市の教育研究会に参加して学びを深めています。



瀬戸口 琢耶さん  
(教育学部1期生 2018年3月卒業)  
堺市立桜小学校 勤務

### 大阪成蹊大学独自の現場教育プログラム

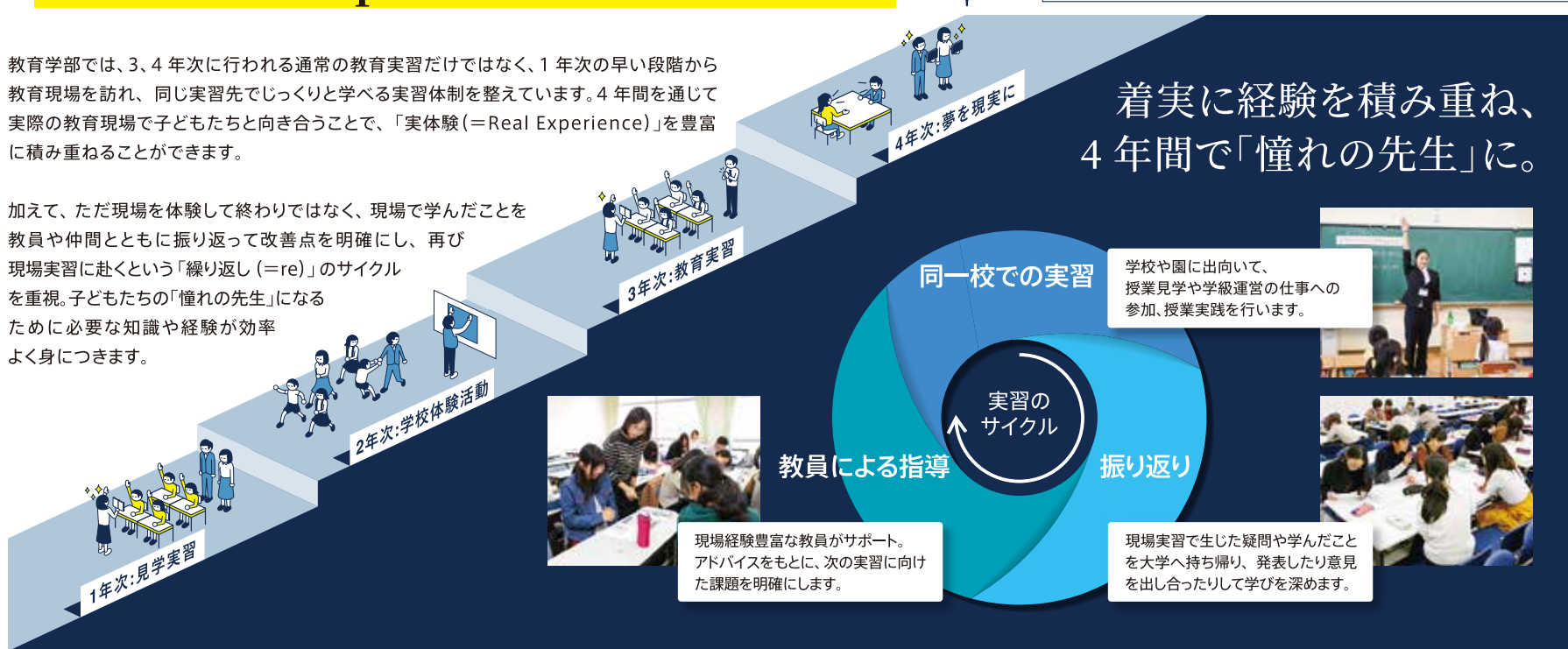
## 「RE(Real Experience)プログラム」



「RE」とは…「Real Experience」(＝実体験)のほかに、ラテン語の「re」(＝繰り返し)という意味が込められています。

教育学部では、3、4年次に行われる通常の教育実習だけではなく、1年次の早い段階から教育現場を訪れ、同じ実習先でじっくりと学べる実習体制を整えています。4年間を通じて実際の教育現場で子どもたちと向き合うことで、「実体験(＝Real Experience)」を豊富に積み重ねることができます。

加えて、ただ現場を体験して終わりではなく、現場で学んだことを教員や仲間とともに振り返って改善点を明確にし、再び現場実習に赴くという「繰り返し(＝re)」のサイクルを重視。子どもたちの「憧れの先生」になるために必要な知識や経験が効率よく身につきます。



#### 1年次：見学実習

現場で見た出来事を振り返る習慣を身につけ、洞察力を鍛える。

学校や園に出向いて、授業を見学。先生の指導、それに対する子どもたちの反応など、現場での観察を通じての感想や疑問を大学へ持ち帰り、グループディスカッションを行います。意見を出し合うことで、人によって捉え方に違いがあることを知り、改めて、先生や子どもたちの言動を注意深く見つめ、その背景まで考える力を養います。

#### 2年次：学校体験活動

授業はもちろん、学校全体の仕事に参加し、自身の課題を追求。

週1回、学校や園に継続して通う「学校体験活動」に取り組みます。授業や学級運営だけでなく、様々な仕事にも積極的に参加して、学校運営への理解も深めます。「子どもたちはなぜあのような行動をするのか」「自分が先生ならどうするか」、1年次同様ディスカッションを繰り返しながら、先生としてあるべき姿を研究。自分の強みも弱みも知ることで、今後の課題を明確にします。

#### 3年次：教育実習

学校体験活動を通じて深い関係性を築いた学校や園で、より充実度の高い実習に。

教育実習は、2年次の学校体験活動でお世話になった学校・園で実施。先生、子どもたちが「おかえりなさい」と迎えてくれるほどの、こころ通う環境で初日から全力で実習に没頭できます。

#### 4年次：夢を現実に

豊富な実習経験を力に、「教育人材育成センター」のサポートのもと、憧れの先生へ。

学内にある「教育人材育成センター」では、公立の小・中・高等学校、幼稚園・保育所の採用試験に詳しい専門スタッフが常駐し、年間を通じて、教員採用試験を見据えた対策講座を開講。徹底した現場教育で培ってきた力を確かなものにして、教員になる夢を叶えます。

## びわこ成蹊スポーツ大学

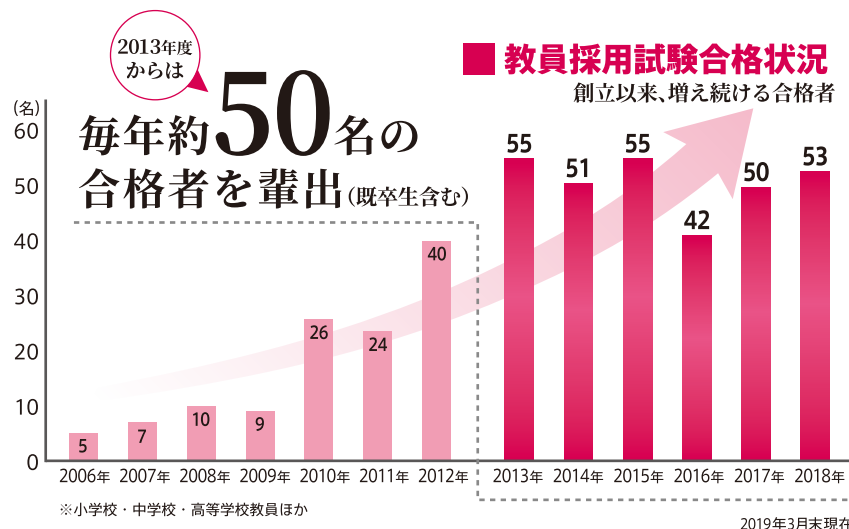
## 教員に強い！

約3,600名の卒業生のうち、908名が教員として活躍(講師含む)

びわこ成蹊スポーツ大学でも、スポーツを通じて培った豊かな人間性と高度な専門性を備えた教員の育成に力を入れています。

現在約3,600名の卒業生のうち、908名が教員として活躍しています。(講師含む)

びわこ成蹊スポーツ大学では、計画的な対策講座の実施はもちろん、教員になりたいという志の高い学生が集い高め合う「教職コアチーム」を2018年10月に発足させるなど、教職センタースタッフ、教職アドバイザーによる細かなサポートを実施。卒業生への支援も充実しており、2013年度以降は、毎年約50名の教員採用試験合格者を輩出して続けています。(既卒生含む)



## 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

### 交換留学体験記

様々な分野に共通する  
「デザインの本質」を学ぶ



現地で私が入ったクラスでは、建築や家具だけでなく、ゲームデザイン、テキスタイルなど様々な分野を専攻する受講生と一緒に学んでいました。そのため、すべての分野に共通して重要となる「デザインの基本」にもとづいた授業がとても充実していました。日本の授業ではAutoCADや3DCADなどのソフトを使用して製作物を作ることが多いですが、デンマークの授業では技術的なスキルよりも、デザインをするための思考や手順についての学びを重視していたことが印象的でした。そのおかげで私も、製品を考える上で大切なユーザー目線や、デザインの本質について、改めて学ぶことができました。

#### 塗装職人のためのブラシポケットを製作

留学終盤の3ヶ月間には、「職人」の仕事に役立つプロダクトを作る、という課題が出ました。私はインテリアデザイナーとして働くフィンランド人のアナベラという女性とペアで課題に取り組みました。アナベラが仕事で知り合った塗装職人のピクターさんを紹介してくれたことで、私たちは「塗装職人」に焦点を絞りました。

私たちはピクターさんの作業場を訪れ、塗装の手順や道具について教わりました。そして普段作業する上で困っていることがないか聞いていくうちに、「足場に乘って作業する際、ブラシを身につけて出し入れできるようなものが欲しい」という意見を得ることができました。

そこで私たちは、複数のブラシを収納できるポケットを作ることになりました。ピクターさんの作業中の身体の動きかたを研究し、使いやすい形状を検討しました。私は日本の伝統文化である「折り紙」からアイデアを得て、折り目にブラシを差し込んで収納できるような形を提案しました。さらに素材にはシリコンを使い、開くと一枚のシートになるようにして、付いたペンキを洗いやすいよう工夫しました。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学では、ヨーロッパ・アジアを中心とした7つの大学と協定を結び、相互に交流しながら国際色豊かな人材を育成しています。  
今回は、交換留学に挑戦した2名の学生にお話を伺いました。

### 異なる言語・文化の人たちと モノ作りを通じて 学び合う充実の半年間

留学先：デンマーク王立芸術アカデミー

留学期間：2018年8月～2019年2月

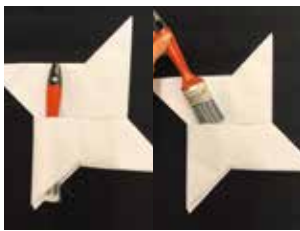
大阪成蹊大学

芸術学部 造形芸術学科 インテリア・プロダクトデザインコース4年

島田 理央さん

完成したポケットをピクターさんに使用してもらったところ、「これがあればブラシを取り替えに足場から下りなくてもいいし、作業の邪魔にもならないよ」と言ってくださいました。講義で学んだユーザー目線のデザインの考え方を自分なりに活かせたのではないかと思います、嬉しかったです。

異なる言語・文化を持つ人達とデザインやモノ作りを通じて学び合える、貴重な経験がいっぱいの半年間でした。卒業後は住宅設備関係の会社で働きますが、この留学で得たものを忘れずに、暮らしを支えるモノ作りに携わっていきたいです。



▲折り紙からアイデアを得て、ポケットの形状を模索



▲ポケットを身につけた塗装職人のピクターさん



▲完成後、ボードを作って学内で発表  
(左：島田さん、右：アナベラさん)

### 大好きな韓国語を じっくり学べる 貴重な機会

留学先：済州観光大学(韓国) 留学期間：2018年8月～2019年2月

大阪成蹊短期大学 観光学科2年

武田 成美さん

韓国語を学ぶために、済州観光大学に留学しました。観光学科には同じ済州観光大学で学ぶ短期の海外研修もありますが、もともと韓国語が少しかた私は、在学中に絶対に日常会話レベルまで持っていきたい!と考えたため、思いきって半年間の留学を決めました。

現地の留学生クラスで学ぶ人たちは、年齢はもちろん国籍も中国、モンゴル、ベトナムとバラバラ。韓国語の授業は週5日あり、説明もオール韓国語です。外国語を外国語で学ぶのは難しいですが、留学中という貴重な環境だからこそ、毎日韓国語のことだけに集中して学ぶことができました。

授業以外では現地のボランティアイベントに参加したり、済州の観光地を回ったりして過ごしました。済州はソウルなどと比べると利便性が低い部分もありますが、人気リゾート地ということもあり、現地の観光事情が見て取れるのも興味深かったです。自由時間に、授業で覚えた文法や単語を使って現地の人と話せた時は達成感を感じました。これからはさらに自主勉強を続けて、「韓国語が使える」ということを自分の強みとして、自信を持って言えるようになりたいです。



▲クラスメイトと一緒に

## 大阪成蹊女子高等学校

### オーストラリア語学研修を実施



2019年3月18日～30日に、オーストラリア語学研修が実施されました。研修はクイーンズランド州、トゥーンバのフェアホルムカレッジという女子校で行われました。英語の授業では、会話表現・発音・文法など充実した内容を学びました。他にも、現地の生徒と一緒にダンスや体育、日本語などの授業を受けたり、小学校を訪問して日本の遊びを紹介するなど様々な活動に参加しました。

また研修中はホームステイと寮生活をそれぞれ1週間ずつ体験。現地の方々と英語でコミュニケーションを取りながら、楽しい時間を過ごしました。授業最終日に行われたフェアウェルパーティーでは、お世話になった先生方、ホストファミリーや現地の生徒の皆さんに感謝の気持ちを込めて、練習してきた合唱を披露しました。研修の最終日にはコアラやカンガルーなどの動物と触れ合ったほか、ブリスベン市内の観光にも出かけました。

様々な活動を通じて培った英語力や経験は、これからの学校生活において、さらにこれからの人生において、大きな糧となることでしょう。



## 大阪成蹊学園



▲学校法人大阪音楽大学 中村孝義 理事長(左)、石井茂 理事長・総長(右)

## 大阪音楽大学と 連携協定を締結

学校法人大阪成蹊学園では、2019年3月29日に学校法人大阪音楽大学と連携協定を締結しました。大阪音楽大学は、これまで3万数千人以上の音楽人を輩出し、クラシックだけでなくジャズ、ポピュラー、邦楽など多彩な学びを展開する、関西唯一の音楽単科大学です。一方で本学園では、大阪成蹊短期大学 幼児教育学科、大阪成蹊大学 教育学部を中心に多くの教育・保育者養成を行う中で、教育・保育の現場で重要な役割を占める「音楽教育」に非常に力を入れてきました。本学では100以上のピアノ練習室・レッスン室を備え、独自の弾き歌い教材を使った授業や、全学的なピアノコンペティションの開催など、ピアノの演奏技術の習得を手厚くサポートし、「豊かな音楽表現活動」を実践できる人の養成を重要視しています。

今後、大阪音楽大学の音楽教育に関するノウハウと、本学の教育・教職カリキュラムを連携させることにより、音楽に関するさらなる学修機会の充実はもちろん、双方において質の高い人材育成をめざします。また、大阪成蹊女子高等学校の生徒を中心に活動する本学園のコーラス部についても、連携にもとづく取り組みの実施を視野に検討しています。

### 連携を 推進する項目(予定)

- 教育・研究の連携
- 学生・生徒が実施する諸活動に対する相互支援
- 双方の設備・施設を利用した学術交流、人的交流
- 合同コンサートなどでの地域振興

## 大阪成蹊女子高等学校



## 2020年4月 「音楽コース」を新設

大阪成蹊女子高等学校では、2020年4月、普通科に「音楽コース」を新設します。ポピュラー・ミュージカル、管弦打、声楽、ピアノなど、色々な音楽を身近に感じながら楽しく学ぶことができるコースです。入学以前の演奏経験などは一切問わず、初心者でも安心のカリキュラムを用意しています。

また、2019年3月に締結された学校法人大阪音楽大学との連携協定にもとづき、より専門的な学びを実現します。



音楽の都、  
ウィーンへの修学旅行

大阪成蹊女子高等学校は、音楽コースを含む2学科6コース体制に進化。一人ひとりの夢への可能性がさらに広がる学びが充実します。

|     |                                                  |     |                     |
|-----|--------------------------------------------------|-----|---------------------|
| 普通科 | キャリア進学コース<br>・アドバンス英語レーン<br>・看護栄養レーン<br>・総合進学レーン | 普通科 | 幼児教育コース             |
| 普通科 | キャリア特進コース<br>・教育特進レーン<br>・スーパー特進レーン              | 普通科 | スポーツコース             |
|     |                                                  | 普通科 | 音楽コース               |
|     |                                                  | 美術科 | アート・イラスト・アニメーションコース |

※レーン選択は2年次より

## 大阪成蹊大学

### 芸術学部 造形芸術学科 インテリア・プロダクトデザインコース

## 「日本・台湾 文化交流プログラム」を実施

芸術学部 造形芸術学科 インテリア・プロダクトデザインコースでは昨年から今年にかけて、台湾の工芸文化の研究、美学教育、工芸文化財の収蔵、展示などを行う機関である「國立台湾工芸研究發展センター」との文化交流プログラムを実施しています。2018年11月には、本学の赤西信哉准教授が現地で4日間のワークショップを行いました。「インテリア・プロダクト



▲台湾でのワークショップで指導を行う赤西准教授

デザインコースでは、「International Furniture Fair Singapore」という世界的な家具の展示会に学生作品を出展する海外研修を行っています。昨年同じく出展を行っていた國立台湾工芸研究發展センターの方からお声かけいただいたことがきっかけで、ワークショップが実現しました。」(赤西准教授)

ワークショップでは、木工スタジオの教員・生徒24名を対象に、日本の伝統文化や日本特有の「美意識」について講義を行った上で、「素一PLAIN」というテーマのもとで制作物を設定しました。受講者は日本の伝統文化に基づくデザインを通して、理解を深めました。

さらに2019年4月17日～19日には、國立台湾工芸研究發展センターから本学へと木工芸の職人・教員を招き、コースの学生に向けたワークショップを行っていただきました。ワークショップに参加した3年生たちは、台湾文化についてのレクチャーを受けた後に、「混一Mix」というテーマで合板を使用したスツールを制作。



▲本学でのワークショップの様子

言語の壁を越えた活発な交流の結果、台湾と日本の文化を「Mix」した個性豊かなスツールが出来上がりました。

7月13日～25日には、國立台湾工芸研究發展センターと本学学生双方の作品を展示する合同展覧会を開催予定で、今後の継続的な交流が期待されています。

また一連の取り組みが、日本文化の魅力を発信する活動として、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局より「beyond2020」プログラムの認証を受けました。

### ※beyond2020 プログラムとは…

東京オリンピック・パラリンピック開催で日本が世界的に注目を集める2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証し、ロゴマークを付与することで、オールジャパンで統一感を持って日本全国へ展開していくもの。(内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局HPより引用)



# 照準は、世界へ。

## 大阪成蹊学園の活躍するアスリートたち

### ■ 陸上競技部 大阪成蹊大学



青山聖佳選手(中央)

## 日本選手権で優勝!

### 国際大会でも活躍

女子陸上競技部卒業生で、大阪成蹊学園職員の青山聖佳選手が、2019年4月21日～24日にドーハ・カタールで開催された「第23回アジア陸上競技選手権大会」に出場し、4×400mリレーで銅メダルを獲得しました。また、5月11日～12日の「IAAF世界リレー2019 横浜大会」では男女混合4×400mリレーで日本記録を更新。そして6月27日～30日に行われた「第103回日本陸上競技選手権大会」では、400mで優勝を果たしました。また本大会では齋藤愛美選手(2年)が200m3位、河合葉奈選手(4年)が三段跳3位、卒業生の山内愛選手(長谷川体育施設株式会社・平成28年度卒業)がやり投で3位と、女子陸上競技部の在学・卒業生が活躍しています。



柳谷朋美選手

## ユニバーシアード 日本代表選出

柳谷朋美選手(3年)が、2019年7月8日～13日にイタリア・ナポリで行われる「第30回ユニバーシアード競技大会」の女子200m・女子4×100mリレー日本代表選手に選ばれました。

### ■ フットサル部 大阪成蹊大学



ブルチャンピオンズカップ 地域大学フットサルリーグ supported by ABeam

## 全国82チームの 頂点に!

2019年3月23日・24日に開催された「エイブルチャンピオンズカップ地域大学フットサルリーグ」で、フットサル部が優勝しました。全国9地域から82チームが参戦し、代表10チームによるノックアウト方式で争った末に大学日本一の座を勝ち取りました。また大会得点王に津田京一郎選手(4年)、大会MVPに力万雅哉選手(4年)が選ばれました。

## U-20フットサル日本代表として 初のアジア制覇に貢献



橋本滯良選手

2019年6月、橋本滯良選手(1年)が日本代表メンバーとして出場した「U-20アジアフットサル選手権(開催地:イラン)」で、日本代表がアジア初優勝を果たしました。橋本選手は準決勝で前回王者のイラン代表を相手に先制点を挙げするなど、活躍を見せました。

### ■ サッカー部 びわこ成蹊スポーツ大学

## 関西選手権 初優勝

2019年6月に行われた「第48回関西学生サッカー選手権大会決勝戦」で、サッカー部(男子)が開学以来初となる優勝を成し遂げました。決勝戦では関西大学を相手にFWの井上直輝選手(4年)や青山景昌選手(4年)の



得点で躍動、最後は泉柊椰選手(1年)がヘディングで決勝点を決め、3-2でタイムアップ。8月の「第43回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」では、初の関西第1位代表として出場します。またサッカー部からは、森昂大選手(2年)、上月翔聖選手(2年)が「2019国際サッカートーナメント大会」にU-20全日本大学選抜として出場し準優勝するなど、顕著な活躍が続いています。

### ■ 陸上競技部 びわこ成蹊スポーツ大学

## 関西インカレ歴代最高順位



「第96回関西学生陸上競技対校選手権大会」で男子1部がトラック6位、フィールド4位、混成1位、総合では5位となり、歴代最高得点・順位を達成しました。

### ■ スキー(モーグル) びわこ成蹊スポーツ大学



平山将大選手

## 日本代表選手に選出

2019年2月に札幌市で開かれた国民体育大会冬季大会スキー競技のモーグル種目で最優秀選手賞を受けた平山将大選手(3年)が、ナショナルチームの選手に選出されました。平山選手は、「2022年の北京冬季五輪の出場をめざします」と決意を述べています。

### ■ 卓球部 大阪成蹊大学

## スペインリーグで快勝



皆川愛華選手

皆川愛華選手(2年)が、2018年秋から行われたスペインリーグに2019年2月～4月にかけて参加。地元チーム「アリカンテ」にエース選手として起用された皆川選手は、出場試合トータル6勝1敗の成績でチームを12チーム中5位→3位に押し上げました。

### ■ バントワーリング部 大阪成蹊大学 びわこ成蹊スポーツ大学

## インターナショナルカップ・グランプリ大会出場



廣瀬愛選手

木下水希選手

高橋一生選手

2019年3月の「第44回全日本バントワーリング選手権大会」兼「第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考会」「2019年IBTFグランプリ大会日本代表選考会」に、バントワーリング部から6名の選手が出場。その結果、木下水希選手(2019年3月卒業)、高橋一生選手(4年)、廣瀬愛選手(3年)は8月にフランス・リモージュで開催される国際大会に出場が決定しました。また、びわこ成蹊スポーツ大学の田中絵里奈選手(3年)、小林真緒選手(2年)もフリースタイルチーム「GENESIS」のメンバーとして出場します。

### ■ アルティメット部 大阪成蹊大学 びわこ成蹊スポーツ大学

## U-24世界選手権出場



岡野理樹選手

神野千聖選手

大阪成蹊大学の岡野理樹選手(4年)と、びわこ成蹊スポーツ大学の神野千聖選手(4年)が、2019年7月13日～20日にドイツ・ハイデルベルクで行われる「WFDF2019世界U-24アルティメット選手権大会」への出場が決まりました。

## 学園同窓会「蹊友会」

## 令和元年度「蹊友会総会」を開催

新しい時代の幕開けから1ヶ月。2019年6月1日に、令和元年度「蹊友会総会」が開催されました。当日は総会に先立ち、大阪成蹊女子高等学校コーラス部による合唱が披露されました。そして数田一子会長の挨拶に続き、石井茂理事長・総長が登壇し、これまで進めてきた改革の経過報告と、今後も更なる学生の質の向上と学園の発展をめざしたい、との思いを語りました。その後役員より平成30年度事業報告、決算報告、令和元年度事業計画及び予算について説明がありました。



そして今回は、キャスター・アナウンサーとして活躍する辛坊治郎さんをお招きし、「時代を読み解く～正しい判断は正しい情報から～」をテーマに特別講演を行っていただきました。普段テレビで見ている辛坊さんが舞台上に登場された際には、会場に大きな拍手が鳴り響きました。ご自身のヨット海難事故の経験や時事問題に触れつつ、辛口ながらも人情味溢れた辛坊氏の講演は、あっという間の1時間。笑いを交えながらも真実を分かりやすく話される中で、「人間としてどう考え、どう生きていくのか」というとても大切な示唆を与えていただいた講演でした。会員の皆様からも、「報道の裏や背景を考える、物事を多角的に見ることの必要性を感じた。」「ものの考え方、次世代へ伝えたいことなどが見つけれられる時間となった。」「目に見えない人に助けら

辛坊治郎さんによる  
特別講演

「時代を読み解く  
～正しい判断は正しい情報から～」



れて生かされていると感じた、自分を支えてくださっている人々に感謝したい」など、様々なご感想をいただきました。

講演終了後は、図書館棟1F食堂ラ・サンティエにて昼食会を行いました。皆様が笑顔で会話も進み、楽しい交流の場となったようでした。さらに昼食会の後には、かつて学生寮のあった場所に建設された新校舎「グローバル館」の見学会を開催しました。学生時代の思い出を懐古しつつ新しい校舎の美しさに感激される声も聞かれ、学園の発展を実感していただく機会となりました。

—大阪成蹊短期大学附属—  
こみち幼稚園だより

## 「Hello!!」楽しく英語にふれる子どもたち

こみち幼稚園では今年度より、「英語チャレンジ」をスタートしました。大阪成蹊短期大学 グローバルコミュニケーション学科の工藤律子先生に講師として来ていただき、年長組3クラスを対象に楽しく英語に親しむ活動を、5月から年間20回の予定で行っています。

「Hello! Good Morning!」元気なあいさつから始まり、工藤先生は英語だけを使って子どもたちに話しかけます。中には、「工藤先生って外国の人なん?」とつぶやく子もいました。先生のことを聞きながら、歌や絵本を通してあいさつの仕方を覚えていく子どもたち。自分の名前や年齢の言い方を学んで英語で自己紹介を練習したり、アルファベットを覚えたり、色々なことにチャレンジしています。

またこれらの活動だけでなく、普段行っている保育活動の中にも自然に英語を取り入れる試みをはじめています。たとえばある日の活動では、バースデーケーキのイラストに自分の年齢分のろうそくの絵を切って貼る遊びに挑戦。これは「数への関心」を促し、同時に「切る・貼る・塗る」といった工作で子どもの創造性をはくむといった目的がありますが、そのケーキに英語で「Happy Birthday」と書いてみるなど、同時に英語に触れられる工夫をしています。

はじめのうちはわからないことも多いと思いますが、こうして繰り返し英語に慣れていくうちに、子どもたちにとって英語がより身近なものになるように願っています。



Hello,  
everyone.



theme  
未来  
への発信

## 第9回大阪成蹊 全国アート&デザイン コンペティション

OSAKA SEIKEI ART & DESIGN  
COMPETITION 2019

昨年は全国各地から計1,654点の応募がありました!

## 高校生・中学生 作品募集

〈 テーマから連想するものを題材として、自由に発想した作品を募集。〉

大阪成蹊学園では、未来のための人材発見を目的として、大阪成蹊大学 芸術学部、大阪成蹊女子高等学校 美術科との共催による「第9回大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション2019」を開催します。授賞式を2019年11月17日に開催し、受賞作品を大阪成蹊大学 芸術学部棟(南館)1F ギャラリー<space B>にて11月17日～12月1日に展示します。

対象 《高校生の部》国内に在住する高校生  
《中学生の部》国内に在住する中学生

詳細 大阪成蹊大学WEBサイト内  
<https://univ.osaka-seikei.jp/news/672>



作品募集期間 2019年9月2日|月| ▶ 10月3日|木|

大阪成蹊短期大学 生活デザイン学科

## 第8回 高校生 ファッションデザイン画コンテスト

生活デザイン学科では、高校生の皆様の自由で豊かな発想による新しいアイデアを発掘すべく、今年度も「高校生ファッションデザイン画コンテスト」を開催します。

### テーマ emotion

emotion とは感情や感動、感性を表す言葉です。あなたが感動する衣服をあなたの感性で自由にデザインし描いてください。

### 応募資格 高校生

画が苦手な方でも大丈夫!  
(アイデア重視で選考します)  
募集期間中のオープンキャンパスで  
描画方法のアドバイスが受けられます!

### 応募期間 ※消印有効

2019. 7.16(土) ▶ 9.30(木)

詳細 大阪成蹊短期大学 WEB サイト内  
<https://tanda.osaka-seikei.jp/news/500>

作例



B4 サイズ



2019  
オープンキャンパス・  
オープンスクール  
開催日程

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

7/21(土)・7/28(日)・8/4(日)  
8/18(日)・9/22(日)・12/15(日)

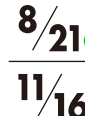
詳しくは  
ホームページへ



びわこ成蹊スポーツ大学

7/21(土)・7/28(日)・8/4(日)・8/18(日)  
9/8(日)・10/5(土)・10/27(日)・12/8(日)

詳しくは  
QRコードへ



大阪成蹊女子高等学校

8/21(水)・9/21(土)・10/26(土)  
11/16(土)・11/30(土)・12/14(土)

詳しくは  
ホームページへ

